

このアンケート調査は、電話帳により県下の主婦一千人を無作為抽出し、郵送方式で実施したもので、回答率は四九・八割でした。

飲酒運転追放

少しぐらい…… 安易な気持で酒を

県交通安全対策室の調査から

「事故を起こさないか」と心配する反面、「少しだから大丈夫だろう」という安易な気持で酒を飲んでいる人が、このほど主婦の飲酒運転に関する調査でわかりました。県下の主婦を対象に県交通安全対策室が行った調査によりますと、飲酒先は飲食店以外が圧倒的に多いことから、家庭に對し飲酒運転追放意識のけいもう運動が必要としています。



「事故を起こさないか」と心配する反面、「少しだから大丈夫だろう」という安易な気持で酒を飲んでいる人が、このほど主婦の飲酒運転に関する調査でわかりました。県下の主婦を対象に県交通安全対策室が行った調査によりますと、飲酒先は飲食店以外が圧倒的に多いことから、家庭に對し飲酒運転追放意識のけいもう運動が必要としています。

「事故を起こさないか」と心配する反面、「少しだから大丈夫だろう」という安易な気持で酒を飲んでいる人が、このほど主婦の飲酒運転に関する調査でわかりました。県下の主婦を対象に県交通安全対策室が行った調査によりますと、飲酒先は飲食店以外が圧倒的に多いことから、家庭に對し飲酒運転追放意識のけいもう運動が必要としています。

「事故を起こさないか」と心配する反面、「少しだから大丈夫だろう」という安易な気持で酒を飲んでいる人が、このほど主婦の飲酒運転に関する調査でわかりました。県下の主婦を対象に県交通安全対策室が行った調査によりますと、飲酒先は飲食店以外が圧倒的に多いことから、家庭に對し飲酒運転追放意識のけいもう運動が必要としています。

市政モニターを募集

五月末日までに応募を
昭和五十三年度の市政モニターを募集しています。
市政モニターは、市民の行政に対する意見や要望を聞くことにより、これを正しくつかみ、今後の行政に反映させていくことを目的で発足したものです。今年で四年目になります。みなさんも市政モニターに応募してみませんか。応募資格は満二十歳以上で、南國市に住んでいる人なら、誰れでも応募できます。ただし、国や地方公務員など、公職にある人はご遠慮ください。選挙は市が行います。募集人員は二十人。任期は翌年の三月末までです。仕事は、マ座談会への出席(二回) マアンケートへの回答(三回) マ市内施設見学会(一回) マその他、随時の意見や要望の提出などを予定。報酬は年間七千円。申込期間は五月三十一日(例)まで。申込方法は企画課広報係に届出する申込書に必要事項を記入して、提出してください。郵送でも受け付けます。
なお、市政モニターの意見は報告書を作成して、市政運営の参考とします。
広報広聴係

空港拡張の動きを追って

周辺整備事業に121億円(案)

後川 改修
春野一赤岡線

主な事業

高知空港拡張に伴う問題は、今年に入って活発な動きを見せはじめました。
五十三年度政府予算で、高知空港に総額九十二億円(うち用地買収費八十億円)が計上され、国県が拡張に積極的に取り組む姿勢を示したことから、一月中旬には市議会議員十二名で構成している「空港対策調査特別委員会」(島内正雄委員長)でもその方向を打ち出しています。これによると、拡張・ジェット化に関する調査活動については、「反対」時期尚早。論もありますが、賛否についてはタナ上げの形で審議しており、今後は「拡張・ジェット化を想定して取り組み、周辺整備や騒音対策など市益擁護に努力する」という方向づけをしています。

「明後日、すでに下島、久枝、物部で行われているもの、田村、下田村ではまだ行っていない状況です。」
また、現地で直接住民との交渉にあたる事務所については、従来の商工会内にあった現空港整備事務所が四月下旬、新たに南國バイパス沿いの日章交差点付近に移るなど、交渉の準備は着々と進んでいるようです。
空港拡張に伴う地元負担については、二月九日、知事ら県側が市役所を訪れ、周辺整備事業は事業別に、年次計画を立てて順次実施。その事業に伴う地元負担を市にはかけない」と、口答と文書で約束するなど、市の財政に負担をかけない考え方を示しています。

この拡張の騒音対策としては、YS機対策として、二月中旬に田村共同利用施設(旧田村東部公民館)が着工、三月には、田村民家防音で約五十戸のうち十二戸が防音工事にとりかかるなど、五十三年度内には完了する予定となつていいます。
そして、この三月一日には「高知空港周辺環境整備対策協議会」(西内四郎会長)が発足。これは空港拡張で犠牲をうける空港周辺の住民の生活環境を改善し、その質的な事業計画を樹立し、一体となって県側に働きかけようとする目的で発足となったもので、委員は物部、久枝、田村、前浜、三和、大塚から五十人で構成されています。この協議会は、河川、道路、環境の三部会に分れており、今後の拡張問題に對していくことになりそうです。

河川事業(事業費六十一億二千七百六十万円) 〓切戸放水路二百四十四、同取り付け道四百一、後川改修四千三百五十、新秋田川改修二千八百、玉子川改修千四百、錦野川改修千七百。
道路事業(事業費二十三億四千万) 〓県道空港線改良二千二百、春野一赤岡線改良四千、土居十五台山線改良千、市道事業(事業費八億八千二百二十一万円) 〓八木一小田村線改良二千、笠松一東島線改良三千六百、竹中一茨西線改良二千三百七十、蔵光一笠松線改良千四百九十、宮前一野尻線改良千六百二十、久枝一琴平沖線改良二千、馬橋一琴平沖線改良千八百、下野内一田村線改良千四百五十、その他区域内の市道局部改良を予定。
農道事業(事業費十三億三千二百万円) 〓広域農道のバイパスから南分三千八百四十で幅員七・五(新設)、県道の四路線改良一万、用排水事業(事業費十四億七千四百万円) 〓用水・県管物部川土地改良事業四千二百、物部千二百、田村川五千九百七十、排水・東部二千五百、その他区域内用排水(県管)八千九百二十以上、総額百二十一億五千八十一万円。